



クラブ運営方針：ロータリー・ムーブメントに ー新たな光りを！

2014-2015年度

広島北

ロータリークラブ週報



Rotary Club of Hiroshima North
2014年9月4日発行 Vol. 1404

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン 氏
国際ロータリーテーマ

LIGHT UP ROTARY
ロータリーに輝きを

■会長 河本 浩一 ■幹事 合田 尚義
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2014年9月4日(木) 第2193回
国歌斉唱
ロータリーソング 「奉仕の理想」
四つのテスト唱和 職業奉仕委員会
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
誕生月会員お祝い
会長時間
幹事報告
委員会・同好会報告
ニコニコ箱
卓話時間 『新会員卓話』 大川畑文昭 会員

前回例報告 2014年8月28日(木) 第2192回

ロータリーソング 「手に手つないで」
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会・同好会報告
ニコニコ箱
卓話時間 『新会員卓話』
岡本 勝幸 会員

ロータリー財団寄付表彰



マルチプル・ポール・ハリスフェロー 4回目 高原宏之 会員
マルチプル・ポール・ハリスフェロー 1回目 山坂哲郎 会員・中山昌実 会員
ポール・ハリスフェロー 上河内裕司 会員・鈴木孝幸 会員

会長時間 会長 河本 浩一

皆様今日は、お元気なこととお喜び申し上げます。
さて去る21日は、金子ガバナーを迎えての公式訪問例会でした。例会前の懇談会の席で、「広島北クラブは、良いことばかりで指導のし

甲斐がないな」とファイルを開きながら呟かれていたのが大変印象的でした。引き続き例会卓話でも、完成度の高いクラブと好評をいただきました。これはひとえに、会員各位の日頃からのロータリーへの篤い思いと奉仕活動への変わらぬ努力の賜物と深甚なる敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げる次第です。

ところで競争相手のことを「ライバル」と言いますが、語源は「rivus」というラテン語で小川の意味からきています。もともとは「川の水をめぐって争う者」の意味でしたが、古来、水が私たちにとっていかかに貴重だったかの証でもあります。時に夏の日照りは、深刻な干ばつを引き起こし、恵みの雨は慈雨とも喜雨と呼ばれています。だがしかし、天は往々にして荒れ狂うのが世の常でもあります。

一時により 過ぐれば民の嘆きなり 八大龍王 雨やめたまへ
これは若き將軍源実朝が建暦元年(1211年)夏、各地で大雨の被害が相次いだために、切実な神頼みをしたためた一首です。それから803年が経った今年も災いは繰り返されました。

それは先週、広島市北部を襲った集中豪雨による土砂災害です。この度の豪雨のことを気象用語では、「線状降水帯」と言うようで、それはまさに神話に出てくるヤマタノオロチが猛り狂うような形相をアマタスが的確にとらえていました。日本の水は豊で、世界平均の倍の雨が降るそうです。それはいわば水害と背中あわせの「豊かさ」であり、その非情を改めて思い知らされたこの夏は、からりと晴れ渡る青空もなく早くも秋の気配すら感じさせる異常気象です。実朝の歌中の八大龍王とは水や雨をつかさどる神を言いますが、温暖化する地球は今、強い雨がより狭い地域で降る一方で、降らない地域が広がる傾向にあるそうです。

ヤマタノオロチはスサノオの一計で退治できましたが、天災は絶えることがありません。私たち一人ひとりがそうした天地のはざままで生きる智慧を確かめ直し、またロータリーにとっても大きなテーマであることを再認識し、会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 合田 尚義

*臨時理事会報告 本日、例会前に臨時理事会を開催し、この度の広島豪雨災害の支援について協議しました。その結果、まず、活動支援金として、9月の会費により一人当たり1万円をお願いするところが決まりました。また、地区より義援金として一人当たり千円の依頼が来ておりますので、こちらも9月会費で徴収することとなりました。今後の支援方法など後程、皆様の意見を聞く機会を持ちますので、よろしく願いいたします。

*9月例会予定表(BOX配布物)

委員会報告

IM実行委員会

例会終了後、第3回実行委員会を開催します。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会



【自主出宝】

河本会員・中山会員・合田会員・二井本会員・佐々木会員

先週は、公式訪問にあたり、多数のフォーラム出席を頂きありがとうございました。活発な意見を頂戴し、ガバナーからも100点満点のフォーラムという評価を頂きました。

高原会員★ お見舞い 広島の高雨災害の見舞いとして心を込めて寄付をします。

高原会員◇ 先日、陵北RCの公式訪問が無事終わりほっとしています。

久保(雅)会員 東京中央RCの北崎さん、ようこそ広島北RCへ。懐かしいですね。その節は楽しい思い出をいたしましたね。ゆっくり楽しんで下さい。

岡本会員 新会員のトップを切って、卓話をさせて頂きます。よろしくお願ひ致します。

山下(江)会員 仕事の為、早退します。

当日計 23,000 円(内、web5,000 円) 累計 313,000 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円

バナー贈呈



東京中央RC 北崎 隆 様

ようこそ、当広島北RCにお越しくださいました！

卓話時間

『新会員卓話』

岡本 勝幸 会員
2014年7月3日入会
株西京銀行 広島支店長



昭和36年山口県田布施町で生まれました。小中高と地元で過ごし、大学は東京の國學院大學で学んだというか、遊んだ方が多かったような気がしております。

昭和58年大学卒業と同時に当時の山口相互銀行＝現、西京銀行に入行し、宇部興産のあります宇部支店へ配属となり銀行員生活が始まりました。今日まで31年5カ月とよく勤められたものと思っていますが、これもひとえに勤務した先々でお会いしたお客様のおかげであると感謝しております。

広島支店へはこの4月に着任しましたが、広島は2度目の勤務で、最初は平成11年4月に広島支店に参りました。その時は子供も小さかったので家族帯同で広島生活を始めたのですが、広島支店2年、今は閉店してしまったのですが祇園支店2年の計4年広島勤務をしているうちに子供も成長して長男が中学に進学したので、やはり、広島という都市環境で教育を受けた方が良いだろうということで、広島に居を構えて今日まで15年になります。その間、私は単身赴任や新幹線通勤で勤務していましたが、この4月から晴れて広島勤務となり、徒歩通勤できるようになりました。

た。15年も広島に住んでいながら残念なのは、唯一私の女房がカープファンになっていないということです。いまだにかたくなにジャイアンツファンを続けています。こればかりはもう仕方ないかとあきらめております。

いま、私は支店長として部下を指導する立場にあります。その際に気を付けていることは、コンプライアンスとコミュニケーションを重視した風通しの良い職場作りであります。ハワハラやセクハラといったハラスメント行為はもつての外、部下を叱責する時も感情に任せて怒るのではなく、そこはきちんと叱ること、成果が出た時はみんなの前でほめるように。そして、何よりも明るくコミュニケーションのとれる職場です。明るい雰囲気でないとも仕事も元気が出ませんし、色々な案件を抱え込んでしまつてはトラブルや不祥事に繋がりますので、職場の仲間に声を掛けながら、何か業務上の悩みを抱えていないか、常に顔色などを観察しています。

そして仕事はチームで行うということです。私どもの銀行の行動基準の一つに「常にチームとして考え、チームとして行動しているか」という言葉があります。広島地区は広島支店と海田支店の2つの店舗で広島グループとしています。グループということで行動すれば、それは人数の総和、30人の力ということになりますが、チームとして行動することで、お互いに協力し、カバーすることで人数の総和の30人以上の力が発揮できます。ですから、常にチーム力ということ部下に求めています。

そして、私がいつも心に留めている言葉が、「窮すれば通ず」ということと「人生不如意十常八九」です。ご存知の方も多いでしょうが、「窮すれば通ず」とは、『易経』の「窮すれば即ち変ず、変ずれば即ち通ず」から来ている言葉です。事態がどん詰まりの状態まで進むと、そこで情勢の変化が起こり、変化が起こるとそこからまた新しい展開が始まるということです。なので、事態が行き詰つてもあきらめずに新しい展開を求めて自ら変化することに気を付けています。

もう一つの「人生不如意十常八九」は、以前、日経新聞掲載の私の履歴書の中に出ていた言葉です。人生は十のうち八か九は思い通りにならないということで、何でも自分の思い通りになると思ふなと戒めの言葉としています。

私が勤めています西京銀行は、元は無尽会社で、昭和5年11月の徳山無尽設立が創業となっております。その後、昭和26年10月に相互銀行法が公布されて、名称も山口相互銀行となりました。当時の本店は山口県下関市です。本店はその後昭和 45年4月に今の周南市へ移転しています。そして平成元年 2 月に普通銀行へ転換し、社名を西京銀行としております。

西京銀行という名前は西の京と書きます。これは、室町時代に山口市を納めていた大内氏が京都を模倣して街づくりを行ったことから、山口が西の京と呼ばれていたことに由来してネーミングしています。

広島支店は南区的場町にありまして、昭和34年11月に店舗を開かせていただき、今年で55年目を迎えることとなります。

55年もの間広島市の街でご愛顧いただき、非常にありがたく感謝いたします。お茶かコーヒー位しかお出しできませんが、お気軽にお越し下さい。また、何なりとご用命下さい。

さて、全国に105行の地方銀行があると申しましたが、昨年5月に自民党の日本経済再生本部の中間提言が出され、その中に地域金融機関の再編促進ということが取り上げられています。

これは、地方経済を再生するためには、戦略的・長期的視点から地域金融機関の広域での提携・再編等を通じた機能強化に取り組むことによって企業のサポート力を向上させることが必要であるということからです。

これを受けて金融庁からは5年後10年後のビジネスモデルを想定した経営を行うことが求められています。すなわち、少子高齢化が進展し、地方の生産年齢人口減少が進みつつある中で、ビジネスモデルの中長期的持続性、今のビジネスモデルのまま競争



に生き残れるのですか？体力のあるうちに合併や経営統合を選択すべきではないのですか？ということです。

私どもの主要地盤である山口県もご多分に漏れず、人口も減少しつつありますし、高齢化率も全国平均を上回っています。そのような環境でありますので、地域の活性化のために本部内に地域連携部を創設して、産官学の連携や創業支援等の活動に取り組んでおり、地域で集めた預金を地域のお客様に貸出して、地域経済の拡大に努めております。

しかしながら、少子高齢化の波は簡単には止められませんので、ご年配のお客が増えるのであれば、そこを逆手に取ってシニア層向けサービスの充実にも取り組んでおります。山口県内のお店には全体で約100人の年金コミュニケーターというメンバーを配置しております。年金コミュニケーターとは、年金を受け取られていらっしゃるお客様を訪問して話し相手になってあげる。その活動の中で、新しく年金を受け取られる方をご紹介いただいたり、シニア層向けの金利の高い年金定期などの商品やサービスをご案内したり、最近では、お一人暮らしのお年寄りの方の現況を遠くにいらっしゃる子供さんに手紙で知らせるサービスも始めています。高齢化が進むのであれば、そのシニア層のお客にも満足して取引いただくことが私どもの使命であると考えております。

また、銀行業務とは離れますが、地域のスポーツ振興として、女子バドミントンチーム「ACT SAIKYO」を運営しています。

ACT SAIKYOのACTとは、私ども銀行の企業理念のACT-BANKから取っておりまして、ACTのAはアクティブ・・・地域の活性化に貢献する。Cはコミュニケーション・・・お客様とのコミュニケーションを大切に。Tはトレンド・・・時代のニーズを先取りする。この3つを実行してお客様の期待に応える銀行を目指しています。

話をバドミントンチームに戻しますと、現在、日本リーグの2部で活動しており、昨年のリーグ戦では地元の広島ガスさんに勝利はしたのですが、勝敗で並び、得セット率で残念ながら惜敗し、広島ガスさんが1部に昇格しました。今年こそは1部リーグ昇格を目指してメンバーは練習に励んでいます。このバドミントンチームは大会の試合だけでなく、スケジュールが空いていればどこへでも出向いてバドミントン教室を開催しています。対象は小学生からママさんチームまで色々で、昨年度は山口県内で14回バドミントン教室を開催し、延べ950の方が参加しています。

他にもスポーツイベントを通しての地域活性化として、3月に私ども西京銀行が冠スポンサーとなって第1回西京銀行6時間リレーマラソンを山口市で開催しました。この大会は、1周1キロのコースを1チーム10人以内でリレーして6時間で何周走れるかを競うというものです。県内外から300チーム、約2,600人もの人に参加していただき、多少ですが地域の盛り上がりにも貢献できたのではないかと思います。因みに、私は一人で走るソロ部門で出場し、6時間で72周走って優勝しました。

このように銀行の業務やスポーツ振興などを通じて地域とのかかわりを深めることで、私ども西京銀行は、地域の活性化への貢献とあくまでも単独での経営を目指しております。

先ほど6時間リレーマラソンでの優勝を話しましたが、私の趣味はマラソンです。始めたきっかけは、平成16年に東京の預金保険機構への出向したことです。埼玉県の川口市に単身赴任して有楽町の預金保険機構へ通勤していました。最初は定期券があるので、休日に銀座や日比谷をぶらぶらしていましたが、次第にこれにも飽きが来て、ならば運動不足解消にと自宅近くにあった周回のコースをトトロとジョギングを始めたのです。そうしたところ、そのコースを練習コースにしている「浦和駄馬の会」というランニングクラブのメンバーに声を掛けられ、一緒に練習をするようになりまして、以来、10年余りマラソンを趣味として、10キロのレースからフルマラソン、長いものは萩往還250キロと色々な大会へ参加して走っています。因みに、フルマラソンの自己ベストの記録は、昨年10月の大阪マラソンでの2時間54分44秒で、なぜか、50歳を過ぎて記録が伸びて

おります。マラソンの効果として真っ先に取り上げられるのが健康な身体作りということだと思います。マラソンは練習を継続することが必要ですので、この練習を続けることで私はここ10年位風邪を引いたことがありません。また、常に練習で汗をかきますし、春先から夏の暑さに向けても走りますから、暑さへの順応もできるのでしょう、夏バテがありません。なので身体にはいいことだなと常々感じています。

健康以外でもう一つ実感しているのが、忍耐力の向上です。駅伝なんかを除き、マラソンは個人競技です。42.195キロを一人で走る訳ですから、途中で苦しくなるのは当然です。その苦しい時にレースを止めて歩いてしまうか、苦しくても走り続けるか、その選択は自分自身にあります。私は苦しくても走り続ける方を選択します。人は楽な方に流されがちですが、苦しくても我慢して続ける忍耐力が付いたのではないかと思います。

その他にも、平日は早朝に練習していますので、走りながら今日やらなければならない仕事の段取りや部下への通達事項等仕事のことも考えています。ですから、会社へ行ってからすぐに色々な仕事の指示ができます。

健康や精神的にもいいなと思うマラソンですが、やはり大会に出場して走ることが一番の楽しみです。スタート地点に立った時は、最後まで走れるかなとか、脚に痛みが出ないといいなとか、意外と後ろ向きな考えばかりが頭をよぎります。とは言え、スタート合図が鳴った後は、そういう考えも消えてしまい、マイペースで走っています。マラソンを走っている時は何を考えて走っているのだろうかと思われる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。私は余りろくなことは考えていませんが、前のランナーのペースやどんな人かなと観察したり、景色を確認したりします。ただ、終盤になると、あと何キロ走ればゴールだ。ゴールしたらどこそこのお店でビールを飲もうと、エンジンをぶら下げられた馬みたいに、マラソン終了後の打ち上げを楽しみに走っています。

最近では全国的なマラソンブームで、参加するにも抽選の大会や先着順のハズコンクニック合戦というように簡単に参加できなくなりました。この秋は、第4回大阪マラソン、第1回福岡マラソンとも抽選で落選しました。このブームを背景に地域活性化を目指して、来年は2月に姫路城マラソン、11月に岡山マラソンと新しいマラソン大会がどんどん開催されます。広島市も1月に都道府県対抗男子駅伝とありますが、平和記念公園スタート宮島折り返しの世界遺産を巡るマラソンなんかが出来ればいいなと願っています。

また、マラソン大会出場で知り合った仲間が全国にいます。こういう仲間との交流ができるのもマラソンのいい点かなと思います。先週の豪雨災害の際も何名かのランナー仲間が心配してメールを送ってきてくれました。

広島市周辺にも何名かの仲間がおり、今週末土曜日には、広島城周回コースで真夏の2時間走を開催します。広島城の周りを2時間走りた方がおられましたら、ご案内しますのでご連絡下さい。とりとめのない話になってしまいましたが、これからもご指導よろしくお願ひします。ありがとうございました。

■出席報告 出席委員会

2014年8月28日(木) 会員数 85名
出席 70名 欠席 15名 来客 3名
8月7日例会出席率 100%

■来客紹介 ローリー-家族親睦委員会

北崎 隆 様 (東京中央)
澤田 英治 様 (広島安芸)
西本 慎一 様 (広島安芸)

■次回例会 2014年9月11日(木)

卓話「新会員卓話」岡田 清治 会員